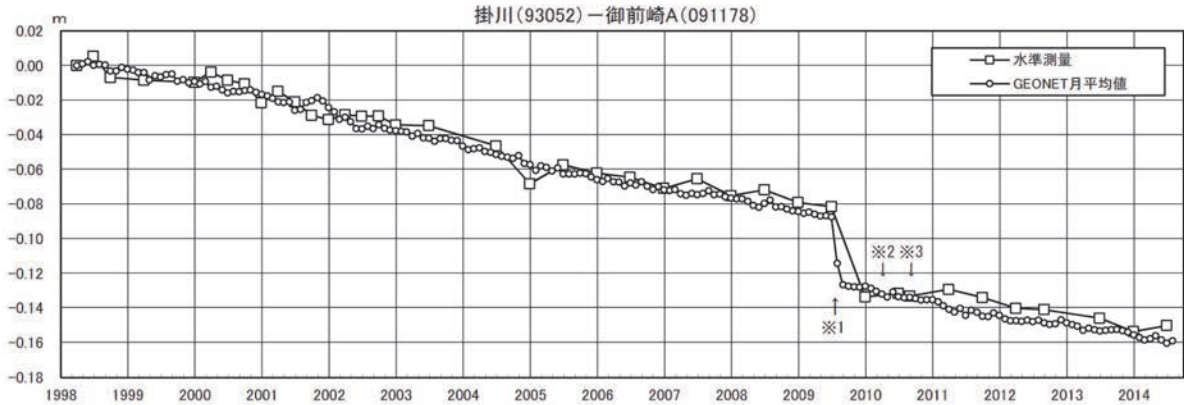


## 御前崎 電子基準点の上下変動

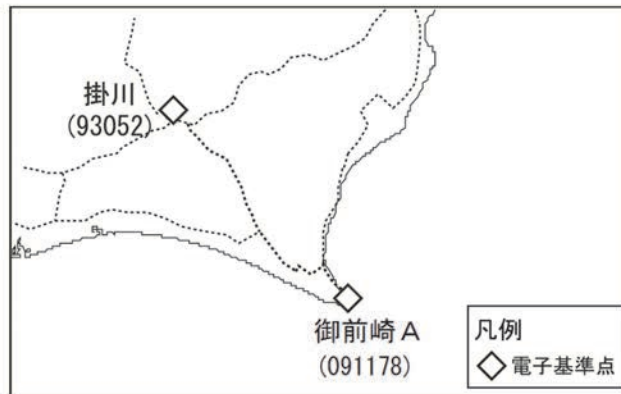
### 水準測量と G N S S 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



- ※1 電子基準点「御前崎」は2009年8月11日の駿河湾を震源とする地震(M6.5)に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010年4月以降は、電子基準点「御前崎」を、より地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎A」とした。  
上記グラフは、電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は、移転後初めて変動量が計算できる2010年9月から表示。

### 位置図

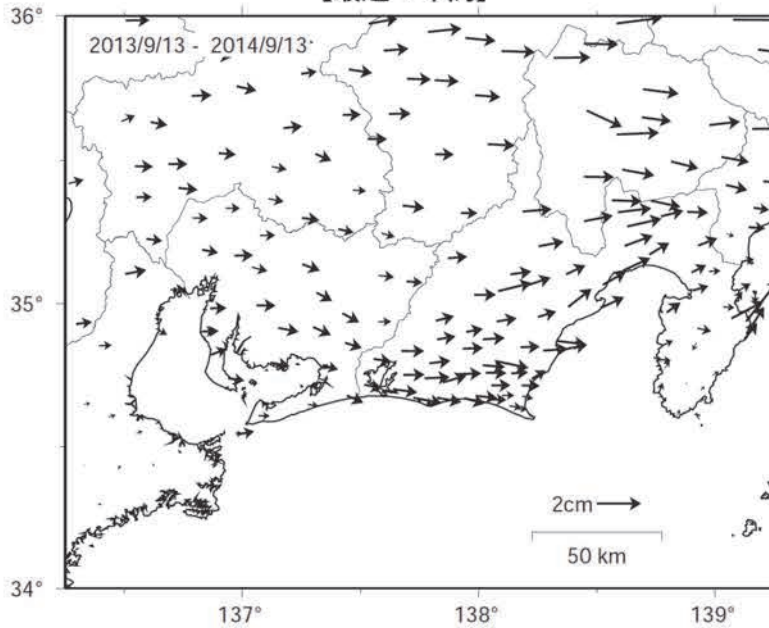


国土地理院

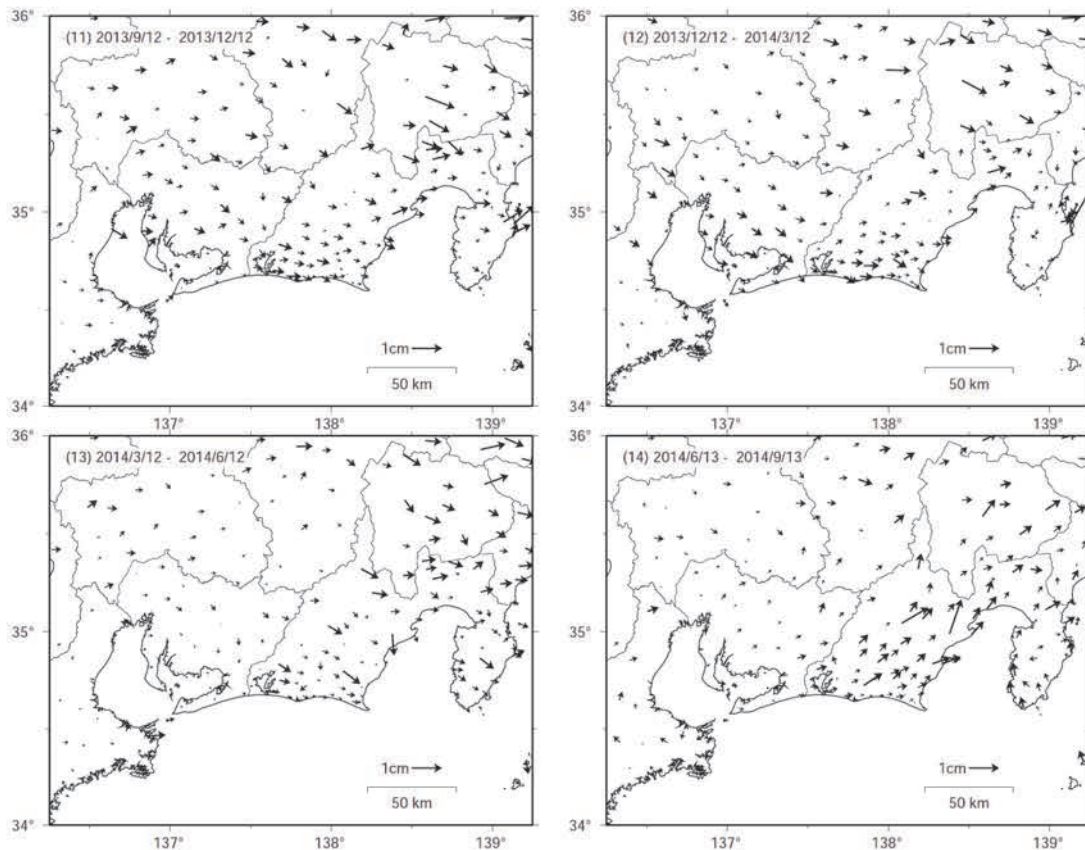
図 8 国土地理院の G N S S 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】  
（2013 年 9 月～2014 年 9 月）  
【最近 1 年間】



【最近 1 年間 3 ヶ月ごと】



・平滑化した非定常地殻変動時系列から、1 年間と 3 ヶ月間の変動量を表示している。  
※非定常地殻変動時系列：  
2008 年 1 月～2011 年 1 月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。

国土地理院

図 9 国土地理院の G N S S 観測結果による東海地方の非定常の水平地殻変動

浜松～掛川～静岡間の上下変動

静岡市に対する浜松市側の隆起が見られる。

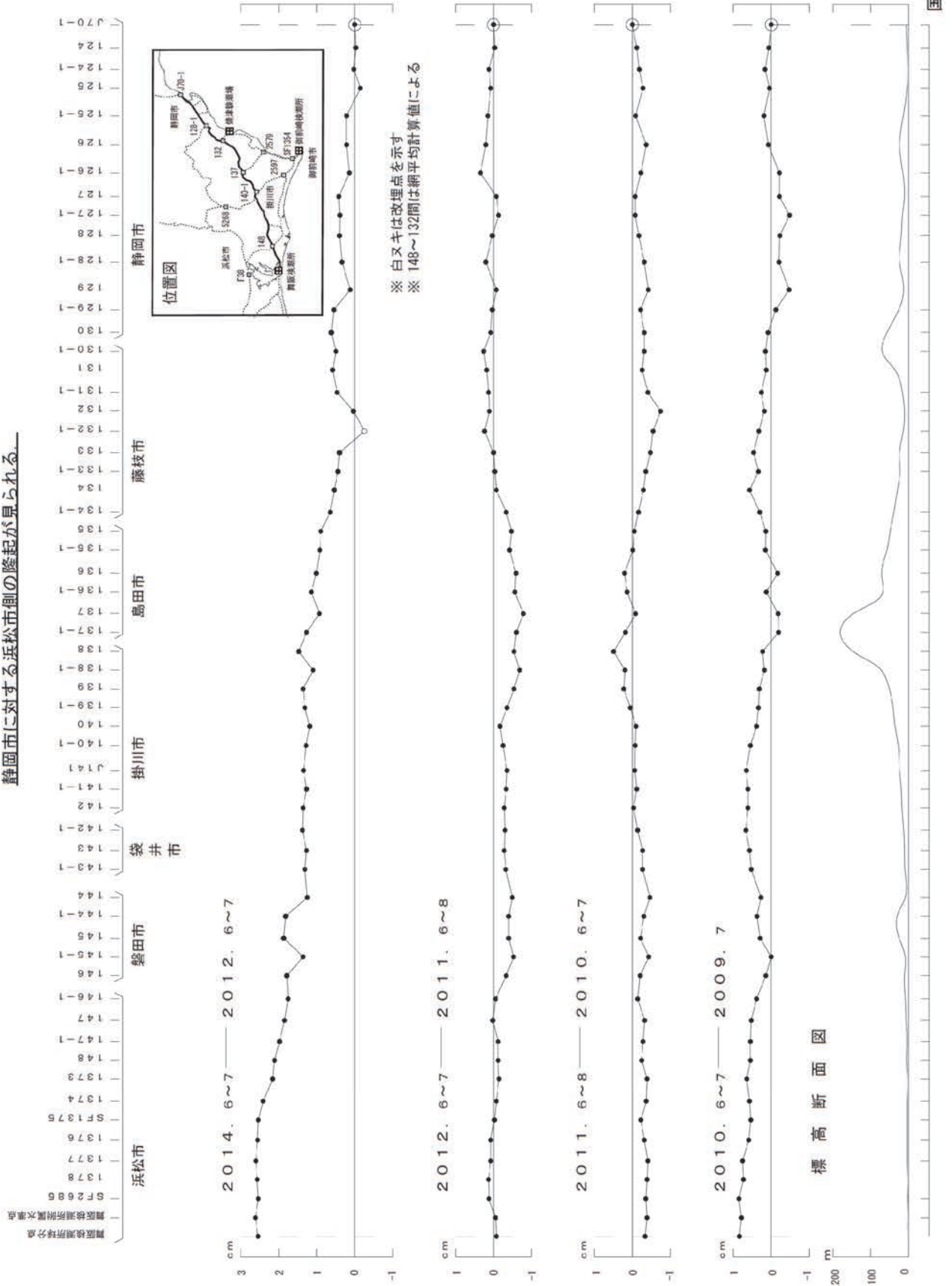


図 10 国土地理院の水準測量による浜松～掛川～静岡間の上下変動  
 静岡に対する浜松側の隆起が見られる。